

一 戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言

昭和十八年(中華民國三十二年)一月九日南京ニ於テ署名  
同年(同)月同日(同年同月同日附官報號外)公布

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十八年一月九日南京ニ於テ帝國全權委員ガ中華民國全權委員ト共ニ署名調印シタル戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言ヲ茲ニ公布セシム

御名 御璽

昭和十八年一月九日

内閣總理大臣兼	東	條	英	機
陸軍大臣	嶋	田	繁	太
海軍大臣	嶋	田	繁	太
外務大臣	谷	正	之	
大東亞大臣	青	木	一	男

IMT 678

285

戦争完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言



戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言

二

條約第一號

戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言

大日本帝國政府及

中華民國國民政府ハ

兩國緊密ニ協力シテ米英兩國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂シ大東亞ニ於テ道義ニ基ク新秩序ヲ建設シ惹  
テ世界全般ノ公正ナル新秩序ノ招來ニ貢獻センコトヲ期シ左ノ通宣言ス

大日本帝國及中華民國ハ米國及英國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂スル爲不勳ノ決意ト信念トヲ以テ軍  
事上、政治上及經濟上完全ナル協力ヲ爲ス

昭和十八年一月九日即チ中華民國三十二年一月九日南京ニ於テ

大日本帝國特命全權大使 重 光 葵 (印)

中華民國國民政府行政院院長 汪 兆 銘 (印)

IMT 670

286



二 租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定

昭和十八年(中華民國三十二年)一月九日南京ニ於テ署名  
同 年(同 年)同月同日ヨリ 實 施  
同 年(同 年)同月同日(同年同月同日附官報號外)公布

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十八年一月九日南京ニ於テ帝國全權委員ガ中華民國全權委員ト共ニ署名調印シタル租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定ヲ茲ニ公布セシム

御名 御璽

昭和十八年一月九日

内閣總理大臣 東 條 英 機  
外務大臣 谷 正 之  
大東亞大臣 青 木 一 男

租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定



租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定

四

條約第二號

租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定

大日本帝國政府及

中華民國國民政府ハ

本日調印ノ戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言ノ本旨ニ從ヒ

中華民國ノ主權尊重ノ趣旨ニ基キ左ノ通協定セリ

第一章 專管租界

第一條

日本國政府ハ現ニ日本國ガ中華民國ニ於テ有スル專管租界行政權ヲ中華民國政府ニ還付スベシ

第二條

兩國政府ハ夫々同數ノ委員ヲ任命シ前條ノ實施ニ關スル細目ヲ協議決定セシムベシ

第三條

中華民國政府ハ前二條ニ依ル租界還付實施後當該地域ニ於ケル施政ニ當リ日本國臣民ノ居住、營業及  
福祉等ニ關シ尠クモ從前ノ程度ヲ維持スベシ



第二章 共同租界及公使館區域

第四條

日本國政府ハ別ニ協議決定セララル所ニ從ヒ中華民國政府ガ成ルベク速ニ上海共同租界行政權及廈門鼓浪嶼共同租界行政權ヲ回收スルコトヲ承認スベシ

第五條

日本國政府ハ中華民國政府ガ北京公使館區域行政權ヲ速ニ回收スルコトヲ承認スベシ

第三章 治外法權

第六條

日本國政府ハ現ニ日本國ガ中華民國ニ於テ有スル治外法權ヲ速ニ撤廢スルコトニ決シタルニ依リ兩國政府ハ右ニ關スル具體案ヲ審議作成セシムルノ目的ヲ以テ其ノ夫々任命スル同數ノ委員ヨリ成ル專門委員會ヲ設置スベシ

第七條

中華民國政府ハ日本國ノ治外法權ノ撤廢ニ伴ヒ自國領域ヲ日本國臣民ノ居住營業ノ爲開放スベク且日本國臣民ニ對シテハ中華民國國民ニ比シ不利益ナル待遇ヲ與ヘザルモノトス  
前條ノ專門委員會ハ前項ニ關スル具體案ヲ併セテ考究スベシ

租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定



第八條

本協定ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本協定ニ署名調印セリ

昭  
和  
十  
八  
年  
一  
月  
九  
日  
即  
チ  
中  
華  
民  
國  
三  
十  
二  
年  
一  
月  
九  
日  
南  
京  
ニ  
於  
テ  
日  
本  
文  
及  
漢  
文  
ヲ  
以  
テ  
本  
書  
各  
二  
通  
ヲ  
作  
成  
ス

大日本帝國特命全權大使 重 光

葵(印)

中華民國國民政府行政院長 汪 兆

銘(印)



蠶絲建設特捐	租稅外收入	國有事業	國家行政	國有營業	解款	特種協款	其他	三十年以前 關稅外債積立	國有財產
七七五〇〇〇	二、六、五、六、二、九〇	二〇九、四、八、八	三、四、三、七、二、八	四、三、二〇、五〇三	一、八、五、九、七、六、三、五	八、三、三、三、三、三	一、二、五、二	五、三、五、〇、〇、〇	三、五、一
四、六、五、〇、〇、〇	一、七、七、九、三、七、七、四、三	一、二、五、六、九、二、八	二、〇、六、二、三、六、八	二、五、九、二、三、〇、一、九	一、一、一、五、八、五、八、一、〇	五、〇、〇、〇、〇、〇	七、五、一、二	三、二、一、〇、〇、〇、〇	二、一、〇、六
一	三三	〇〇	〇〇	五	二一	一	〇	六	〇



以下  
續日添附

中華民國豫算一覽表

(1) 國民政府民國三十一年度(昭一八)上季歲入歲出表

單位(儲備元)

歲入	月	歲	上季總額	對歲入百分比					
					租稅收入	關稅	鹽稅	統稅及臨時特稅	菸酒稅
九〇六〇一七八八	九〇	六〇一七八八	五四三六一〇七三三	一〇〇					
六〇九四五四九八	六〇	九四五四九八	三六五六七二九九八	六七					
一六二〇〇〇〇	一六	二〇〇〇〇	九七二〇〇〇〇	一八					
五四五〇〇〇	五	四五〇〇〇	三二七〇〇〇〇	六					
三〇二八六〇六〇	三〇	二八六〇六〇	一八一七一六三五八	三四					
三六五二六七	三六	五二六七	二一九一六〇二	〇					
三五六八一六	三五	六八一六	二一四〇八九六	〇					
四六七三五五	四六	七三五五	二八〇四一三〇	〇					
三四〇〇〇〇	三四	〇〇〇〇	二〇四〇〇〇〇	〇					
二七四五〇〇〇	二七	四五〇〇〇	一六四七〇〇〇	〇					
九〇〇〇〇〇	九〇	〇〇〇〇	五四〇〇〇〇〇	一					



總 保 備 費	其 他 臨 時 費	特 殊 建 設 基 金	臨 時 加 成 費	粵 鄂 臨 時 補 助 費	補 助 費
一 七 〇 〇 〇 〇 〇	六 三 三 三 八 五	八 三 三 三 三 三	一 二 四 〇 〇 〇 〇	五 〇 四 一 四 九	一 四 一 六 一 八 二 二
一 〇 二 〇 〇 〇 〇	三 八 〇 〇 三 一 〇	五 〇 〇 〇 〇 〇	七 四 四 〇 〇 〇 〇	三 〇 二 四 八 九 四	八 四 九 七 〇 九 三 〇
二	〇	一	一 四	〇	一 六



歲出	國務	內務	外交	財務	軍務	實業	交通	教育文化	司法	事業	撫卹	國有營業	支出
九〇六〇一七八八	五一七二七八四	二三四六八四八	一四六六五〇九	六〇四〇七三二	三六七七四九六三	七八二五八二	二四六四六二	一一二二三三一	九七七三四二	四三〇二二九六	二〇〇〇〇〇	一二五六二五〇	
五四三六一〇七三三	三一〇三六七〇四	一四〇八一〇九二	六八七九〇五九	三六二四四三九〇	二〇六四九七八三	四六九五四九〇	一四七八七七二	六七三三九八三	五八六四〇五二	二五八一三七七四	一二〇〇〇〇〇	七五三七五〇〇	
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
對歲出百分比	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	



(四) 華北政務委員會民國三十一年度豫算

(年間)

(八) 蒙古聯合自治政府成紀七三八年(昭二八)豫算

(年間)

科目		金額	%	科目		金額	%
入總額	租稅收入	四二二,五四六〇〇	一〇〇	入總額	租稅收入	八二,八四一,一二一	一〇〇
關稅	鹽稅	一,一七二,四〇〇	三	營業稅、法人稅	四七,三六一,〇〇〇	五七	
菸酒稅	菸酒稅	三〇二,九四七〇〇	七二	營業所得稅	八四,八九〇〇〇	一〇	
印花稅	印花稅	四三,六一〇〇	一〇	山產稅	五三,〇七〇〇〇	六	
礦產稅	礦產稅	三,〇七七,五〇〇	一	礦區、礦產稅	九〇,〇〇〇	一	
所得稅	所得稅	五三八,三〇〇	一	牲畜、屠宰稅	一,六三六,〇〇〇	二	
捲菸稅	捲菸稅	七五〇,五七〇	二	菸稅	一,四〇〇,〇〇〇	二	
其ノ他統稅	其ノ他統稅	二七六,七〇〇	七	酒稅	一,四〇〇,〇〇〇	二	
通商稅	通商稅	一四七,二〇〇	三	捲菸統稅	二,八〇〇,〇〇〇	三	
		三三九,〇〇〇	八	其ノ他統稅	一九七八七〇〇	二	
		七三一,九〇〇	二	物品稅	三,六一三,〇〇〇	四	
		一,九〇〇	二		三,五〇〇,〇〇〇	四	

(單位：聯銀圓)

(單位：蒙銀圓)



公債金	關稅擔保外 債積立金	過年度關稅剩餘	雜項收入	租稅外收入	禁烟收入		
三〇〇〇〇〇〇	一八九二四〇〇	五七九四九〇〇	一三七一六〇〇	一一九五九九〇〇	一四五五三〇〇		
七	四	一四	三	二八	三		
歲計剩餘金	雜收入	官有財產收	官業收入	關稅收入	租稅外收入	雜稅	通行稅
四四二〇〇〇〇	三五七一、二二一	一、七四三、九〇〇	一、七四六、〇〇〇	五〇〇〇〇〇	三五四八〇、一二一	六四〇〇〇	六七五〇〇
六	三	二	二六	六	四三	一	一



華北政務委員會

費目	金額	額	%
豫備費	二四、五九一、一一五	六	
肅正工作費	六二、二五一、八六四	一五	
補助費	一三、〇〇〇、〇〇〇	三	
司法費	九、二六五、九八九	二	
建設費	七、七一、九七三	六〇	一八
實業費	六〇、五二七、二三六	一六	四
教育費	一八、五五七、〇六六	六六	四
治安費	六四、八五一、一三六	一六	五
財務費	三二、七四九、五一七	一七	八
內務費	四〇、一九三、五五五	一五	一
政務費	五五、五三三、六二一	一三	
支出總額	四二二、五四六、〇〇〇	一〇〇	

蒙古聯合自治政府

費目	金額	額	%
行政費	三九、二四〇、七〇〇	四七	
治安費	二七、六一〇、四九〇	三三	
產業費	五九、五七〇、二一一	七	
教育費	一、六一五、三五五	一	二
民生費	一、六七二、六五〇	〇	二
宗教費	二、八〇、五二五	五	一
衛生費	一、四六四、三八四	四	二
償還費	五〇、〇〇〇、〇〇〇	〇	六
支出總額	八二、八四一、一二一	一〇〇	





民國三十一年度（昭和十七年度）在留邦人ノ  
中國側課稅負擔實績推定表

合計	地方稅		國稅	
	內 譯	其 他	內 譯	其 他
	車 捐	其 他	統 稅	其 他
一 一 四 七 八 七	一 二 〇 六	二 六 四	一 〇 八 三 〇 四	一 一 三 三 一 七
				千圓







中國側稅	七九九五	酒稅、筵席捐、房	二〇三七三	所得稅、營業稅、酒
收入增加	又八	捐等中央稅、地方	又八	稅、筵席捐、房捐等
	一〇二〇八	稅(所得稅、營業	二三六九三	中央稅、地方稅納付
		額ノ三分ノ二		年額

備考

金額欄中右側數字ハ現地製日本清酒ニ付中國側土酒ノ稅率(從價二五%)ヲ適用シタル場合ノ計算ニシテ、左側數字ハ洋酒ノ稅率(從價四五%)ヲ適用シタル場合ノ計算ナリ







一時的物品販賣税  
門戸税

「備考」○印ハ課税スルモノ

×印ハ課税セザルモノ

△印ハ減收ヲ豫想スルモノ

○ ○

○ ○

× ×



在支居留民團、居留民會調（昭和十八年四月現在）

					地 區		民 團		民 會		
					所 在 地		所 在 地		數		
					張	厚	宣	豐	宣	八	計
					家	和	化	臺	化		
					口	包	張	長	張		
					大	頭	化	辛	化		
					同		下	店	下		
							花		花		
							園		園		
					四						
北	石	塘	山	張	豐	石	南	通	定	彰	
京	門	沽	海	店	景	景	苑	州	縣	德	
保	天	唐	關	青	山	山	門	古	密	邯	
定	津	山	濟	島	南	南	頭	北	雲	鄆	
			南		口	口	溝	口			
			一								
			四								



北

支

開  
封  
新  
鄉

焦	寧	忻	潞	運	威	濰	高	青	濟	棗	昌	灤	滄
作	武	縣	安	城	海	縣	密	州	寧	莊	黎	州	州
	陶	汾	榆	臨	陽	龍	膠	博	華	兗	德	秦	古
	德	陽	次	汾	泉	口	州	山	豐	州	州	皇	冶
												島	

三

九

五

三



計	南	中				
	支	支				
	廈門廣東	漢口大冶	南京九江	徐州海州	杭州嘉興	上海蘇州
三二	二	一三				
	汕頭海口	南昌	馬鞍山 蕪湖	安慶 蘄州	淮南 蕪湖	揚州 蘇州
六二	二	一三				
九四	四	一三				



在支居留民團、居留民會ノ主要事業調  
事業ノ種類多岐ニ亘ルモ其ノ主要ナルモノ左ノ如シ  
一 一般的ナルモノ

(1) 教育

中等、青年・國民學校、幼稚園等ノ經營

(2) 衛生

防疫及保健所、診療所、病院等ノ經營

(3) 社會

所謂社會事業及救恤

(4) 配給

生活必需品ノ配給

(5) 警防

警防團、自警團ノ組織活動

(6) 墓地火葬場

(7) 軍事援護

慰靈、遺家族扶助、皇軍慰問等

(8) 政府貸付金

復興資金ノ處理

(9) 翼贊運動

翼贊會ノ組織又ハ助成

(10) 神社奉齋

(11) 其ノ他居留民ニ關スル諸般ノ事務







ニ 特殊のナルモノ

(1) 市場 (一部民團)

(2) 住宅 ( " )

(3) 圖書館、博物館 ( " )

(4) 電氣、水道、埠頭 (天津民團)



主要都市居留邦人人口

蒙疆										駐區	
包頭	厚和	集厚	朔縣	岱岳	豐鎮	大同	下花園	張北	宣化	張家口	領事館
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	都
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	市
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	人
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	內
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	地
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	人
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	朝
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	鮮
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	人
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	臺
十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	十一	灣
十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	十二	人
十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	十三	備
十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	考











青 博 張										濟 南		
島 山 店										南 昌		
膠 高 青 濰 博 青 張 濰 濟 兗 棗 德	州 密 島 川 山 州 店 豐 寧 州 莊 州	南 黎										
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37
38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42
43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44
45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46
47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47
48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48
49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49
50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50











巢	馬	蘆	安	燕	淮	蚌	卸	揚	浦	鎮	南	海	宿
縣	鞍	州	慶	湖	南	埠	甲	州	口	江	京	州	縣

四	四	六	七	一	二	一	二	一	一	二	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

三	四	六	六	二	八	一	二	三	四	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一



合	南					小	其	大	漢	九
	支	廣	汕	海	其					
計	厦	東	頭	口	他	計	治	口	南	江
	門	廣	汕	海	散	一	大	漢	昌	江
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37
38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42
43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44
45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45
46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46
47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47
48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48
49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49
50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50



税之ニ次グ

徵稅機構

徵稅機構ハ地域ニ依リ異ル。國民政府財政部ニハ稅務署、關務署、鹽務署、所得稅處等アリ、華北政務委員會財務總署ノ下ニハ華北統稅總局アリ、蒙古聯合自治政府經濟部ノ下ニハ財務監督署アリ、夫々稅務ヲ統轄シ地方分局ヲ監督シツツアリ、省政府ニ於テハ財政廳ノ下ニ稅種ニ依リ分レタル分局アリ。市政府、縣政府モ大體之ニ準ズ



中國租稅制度概要

一 稅 種

(一) 國稅ノ主ナル種目ハ統稅、關稅、鹽稅、所得稅等トス

註 統稅トハ統一稅ノ意味ニシテ卷煙草、薰葉煙草、麥粉、

「セメント」、「アルコール」、「ビール」、燐寸、綿

絲、綿布ニ對シ從價ニ依リ課スル間接消費稅トス

(二) 地方稅ハ雀稅、特別市稅、市稅、縣稅等ニ分タル、省稅及特別

市稅ノ主タル種目ハ田賦、營業稅等ニシテ、市稅及縣稅ノ主タ

ル種目ハ車捐、房捐、葦席捐等トス

註 田賦ハ田、畑、池沼、山林等ニ對スル地稅、房捐ハ家屋

稅、葦席捐ハ飲食料金ニ對シ課スル消費稅トス

二 租 稅 收 入

租稅收入ハ昭和十八年度一般會計歲入見込額七億四千八百萬圓ノ

内約七割ヲ占メ、其ノ内最モ多額ナルハ統稅收入ニシテ關稅、鹽



直接稅

收益稅  
(物的直接稅)

通行稅	阿片栽培稅(北)家										
船捐	阿片栽培稅(北)蒙	妓院捐	油稅(北)	阿片營業稅	營業專稅(中)	牙稅	屠宰稅	當當稅			
車捐	阿片栽培稅(北)	費捐		阿片營業稅		牙稅附加	屠宰稅附加				
船車捐	妓女捐	(樂戶捐)	妓院捐	清潔捐	戲藝捐(北)	冰窖捐(北)	阿片營業稅	營業專稅(中)	牙稅	屠宰稅	當稅



中國現行租稅一覽表

區分		所得稅	所得稅	所得稅
國稅	所得稅	第一類	第二類	第三類
	(人的直接稅)			
省稅	田賦			
	營業稅 特別營業稅			
縣稅	田賦附加			
	房捐			
市稅	田賦附加			
	地價稅、地稅 房捐 舖捐 營業稅 特別營業稅			
	菸酒牌照稅			
	菸酒牌照稅附加			
	菸酒牌照稅			



流通稅	印花稅 登錄稅	物品稅(蒙)	出產稅(蒙)	阿片稅 (消費稅)	警系建設特捐 (國)	糖類 糖類 桐油 茶葉 禽毛 豚毛
	契稅			阿片稅附加		
	契稅附加			阿片稅附加		
	契稅附加 舖底移轉稅(北)			阿片稅附加		



間接消費稅										直接消費稅					
臨時特稅(國)	菸酒稅	洋酒類稅	汽水稅	麥粉、麥酒	アルコール	セメント	布、燐寸	煙草、綿糸	卷煙草、蕪菜箔	統稅	鹽稅	關稅			
	菸酒省附加(中)								箔類稅(中)	乾蕪特捐(中)	牲畜稅		筵席捐	娛樂捐	
											牲畜稅附加		筵席捐	娛樂捐	旅客捐(中)
									箔類稅(中)		碼頭稅		筵席捐	娛樂捐	旅客捐(中)
													廣告捐	筵席捐	娛樂捐



外甲三三

昭和六年七月二十九日

内閣書記官長

内閣書記官

昭和六年七月二十九日

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

海軍大臣

商工大臣

大東亞大臣

内務大臣

司法大臣

遞信大臣

鈴木國務大臣

大藏大臣

文部大臣

鐵道大臣

大森國務大臣

陸軍大臣

農林大臣

厚生大臣

後藤國務大臣

別紙外務大臣請議中華民國ニ於ケル日本國臣民對シテ課税關スル日本國中華民國間條約公布方請議ノ件



興

為

年

五

五

五

年

五

五

五

五

再

五



閣議決定セラレ可然ト認ム  
條約公布案  
ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通

條約公布案

呈案ノ通



追テ署名済ノ節ハ其ノ旨署名ノ月日署名振等ト共ニ直ニ通報ニ  
及ブベク候

尙公布案文書左ノ通添附致置候

一 上諭文案

二 部

ニ 條約日本文

五 部

外  
務  
省



法制局 外第二〇九號  
昭和十八年七月廿九日

法制局



秘

條一祕第三一四號

昭和十八年七月二十九日

外務大臣 重光

內閣總理大臣 東條英機 殿

中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ  
關スル日本國中華民國間條約公布方請議ノ件

中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國間條約近ク署名ノ運ト相成ルベク候ニ付テハ右署名濟ノ節ハ至急官報ヲ以テ公布方可然御取計相成度別紙公布案相添へ此段及請議候也



主任者、條約局第一課長

外甲三三三

外務省

稿





大東亞大臣

外務省

東東 4943

IMT 678

327



朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十八年七月三十一日南京  
ニ於テ帝國全權委員ガ中華民國全權委員ト共ニ署名調印シタル中  
華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國  
間條約ヲ茲ニ公布セシム

御名御璽

昭和十八年八月一日

內閣總理大臣

外務大臣

外務省



# 條約第 號

中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國間  
條約

大日本帝國政府及

中華民國國民政府ハ

昭和十八年一月九日即チ中華民國三十二年一月九日調印ノ戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言ノ本旨ニ從ヒ

同日調印ノ租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定ノ規定ニ基キ

日本國ガ中華民國ニ於テ有スル治外法權ニ關シ先ヅ日本國臣民ニ對スル中華民國ノ課税ニ關スル法令ノ適用ニ付左ノ通協定セリ

## 第一條

日本國臣民ハ中華民國ノ領域内ニ於テ本條約附屬協定ノ定ムル所ニ從ヒ同國ノ課税ニ關スル法令ニ服スベシ

本條ノ適用ニ關シ日本國臣民ハ如何ナル場合ニ於テモ中華民國國民ニ比シ不利益ナル待遇ヲ受クルコトナカルベシ



前二項ノ規定ハ之ヲ法人ニ適用シ得ル限リ日本國法人ニ適用スルモノトス

第二條

本條約ハ昭和十八年八月一日即チ中華民國三十二年八月一日ヨリ實施セララルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日即チ中華民國

年 月 日

ニ於テ日

本文及漢文ヲ以テ本書各二通ヲ作成ス



## 附屬協定

本日中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國間條約ニ署名スルニ當リ兩國  
全權委員ハ左ノ通協定セリ

### 第一條

條約第一條ノ規定ニ依リ日本國臣民ノ服スベキ中華民國法令ノ範圍及適用ノ態様ハ中華民國政府外交  
部部長ヨリ豫メ之ヲ中華民國駐劄大日本帝國特命全權大使ニ通報スベシ

### 第二條

條約第一條ノ規定ニ依リ日本國臣民ノ服スベキ中華民國法令ノ日本國臣民ニ對スル適用及執行ニシテ  
司法手續ニ依ルベキモノハ日本國臣民ガ中華民國ノ裁判管轄權ニ服スルニ至ル迄日本國領事官ニ於テ  
之ヲ行フモノトス

前項ノ場合ニ於テハ日本國領事官ハ領事裁判ノ一般準則ニ從ヒ中華民國當該法令ヲ適用スベシ

本條ノ規定ニ依リ罰金等ノ言渡アリタル場合ニ於テ其ノ罰金等ハ中華民國ニ歸屬スベシ

### 第三條

條約第一條ノ規定ニ依リ日本國臣民ノ服スベキ中華民國法令ニ基ク中華民國當該官憲ノ行政處分ニ對



シ日本國臣民ニ於テ不服アルトキハ中華民國政府ハ之ガ救正ニ付適當ナル措置ヲ講ズベシ

第四條

中華民國政府ハ其ノ現行租稅制度ニシテ整備スベキモノハ進ンデ速ニ之ガ整備ヲ爲スベシ

第五條

條約第一條ノ規定ニ依リ日本國臣民ノ服スベキ中華民國法令ノ範圍及適用ノ態様ハ夫々日華兩國ノ官報ニ公示セララルベシ

第六條

本協定ハ條約ト同時ニ實施セララルベシ

右證據トシテ兩國全權委員ハ本協定ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日 即チ中華民國 年 月 日 於テ之  
ヲ作成ス



中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國間  
條約ニ關スル日華兩國全權委員間了解事項

本日中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國間條約ニ署名スルニ當リ本條約實施ニ付テノ暫定的措置トシテ兩國全權委員間ニ左ノ了解成立セリ

第一 附屬協定第二條ニ付

本條ノ規定ハ中華民國駐劄大日本帝國特命全權大使ト中華民國政府外交部部長トノ間ニ別ニ協議決定セラルル迄適用セラレザルベシ

第二 附屬協定第三條ニ付

當分ノ間中華民國政府ハ日本國臣民ノ服スベキ中華民國ノ課税ニ關スル法令ニ基ク行政處分ニシテ強制力ヲ用フルモノハ之ヲ爲サザルモノトス

第三 本了解事項第一及第二ニ付

日本國政府ハ日本國臣民ヲシテ本條約ニ基キ納税セシムル爲別ニ必要ナル措置ヲ執ルベキモノトス



ヲ作成ス

昭和 年 月

日即チ中華民國

年 月

日 六

ニ於テ之

IMT 678

334



秘

條一祕第三二一號

昭和十八年七月三十日

外務次官 松本俊

内閣書記官長 星野直樹殿



中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課稅ニ關スル日本國中華民國間條約公布方ニ關スル件

本件ニ關シテハ重光外務大臣ヨリ東條内閣總理大臣宛本月二十九日附條一祕第三一四號ヲ以テ申進ノ次第アリタル處本件條約ハ來月一日附官報號外ヲ以テ公布方御取計相成度尙前記往信添附ノ案文日本文ノ日附、署名振等ハ條約、附屬協定及了解事項共ニ左記ノ通確定致候間右記入方御取計相成度記入濟ノモノ三部別添ノ通及御送付候

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 670

335



追テ本件條約署名調印ノ節ハ更ニ電話ヲ以テ其ノ旨通報ニ及ブ  
ベク候

記

中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國  
國間條約

昭和十八年七月三十一日即チ中華民國三十二年七月三十一日南  
京ニ於テ日本文及漢文ヲ以テ本書各二通ヲ作成ス

大日本帝國特命全權大使 谷 正 之 (印)

中華民國國民政府外交部部長 褚 民 誼 (印)

外 務 省



條約第八號

中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國間  
條約

大日本帝國政府及

中華民國國民政府ハ

昭和十八年一月九日即チ中華民國三十二年一月九日調印ノ戰爭完遂ニ付テノ協力ニ關スル日華共同宣言ノ本旨ニ從ヒ

同日調印ノ租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定ノ規定ニ基キ

日本國ガ中華民國ニ於テ有スル治外法權ニ關シ先ヅ日本國臣民ニ對スル中華民國ノ課税ニ關スル法令ノ適用ニ付左ノ通協定セリ

第一條

日本國臣民ハ中華民國ノ領域内ニ於テ本條約附屬協定ノ定ムル所ニ從ヒ同國ノ課税ニ關スル法令ニ服スベシ

本條ノ適用ニ關シ日本國臣民ハ如何ナル場合ニ於テモ中華民國國民ニ比シ不利益ナル待遇ヲ受クルコトナカルベシ



前二項ノ規定ハ之ヲ法人ニ適用シ得ル限リ日本國法人ニ適用スルモノトス

第二條

本條約ハ昭和十八年八月一日即チ中華民國三十二年八月一日ヨリ實施セララルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名關印セリ

昭和十八年七月三十一日即チ中華民國三十二年七月三十一日南京ニ於テ日本文及漢文ヲ以テ本書各二  
通ヲ作成ス

大日本帝國特命全權大使 谷 正 之(印)

中華民國國民政府外交部部長 褚 民 誼(印)



## 附屬協定

本日中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國間條約ニ署名スルニ當リ兩國全權委員ハ左ノ通協定セリ

### 第一條

條約第一條ノ規定ニ依リ日本國臣民ノ服スベキ中華民國法令ノ範圍及適用ノ態様ハ中華民國政府外交部部長ヨリ豫メ之ヲ中華民國駐劄大日本帝國特命全權大使ニ通報スベシ

### 第二條

條約第一條ノ規定ニ依リ日本國臣民ノ服スベキ中華民國法令ノ日本國臣民ニ對スル適用及執行ニシテ司法手續ニ依ルベキモノハ日本國臣民ガ中華民國ノ裁判管轄權ニ服スルニ至ル迄日本國領事官ニ於テ之ヲ行フモノトス

前項ノ場合ニ於テハ日本國領事官ハ領事裁判ノ一般準則ニ從ヒ中華民國當該法令ヲ適用スベシ  
本條ノ規定ニ依リ罰金等ノ言渡アリタル場合ニ於テ其ノ罰金等ハ中華民國ニ歸屬スベシ

### 第三條

條約第一條ノ規定ニ依リ日本國臣民ノ服スベキ中華民國法令ニ基ク中華民國當該官憲ノ行政處分ニ對



シ日本國臣民ニ於テ不服アルトキハ中華民國政府ハ之ガ救正ニ付適當ナル措置ヲ講ズベシ

第四條

中華民國政府ハ其ノ現行租稅制度ニシテ整備スベキモノハ進ンデ速ニ之ガ整備ヲ爲スベシ

第五條

條約第一條ノ規定ニ依リ日本國臣民ノ服スベキ中華民國法令ノ範圍及適用ノ態様ハ夫々日華兩國ノ官報ニ公示セララルベシ

第六條

本協定ハ條約ト同時ニ實施セララルベシ

右證據トシテ兩國全權委員ハ本協定ニ署名調印セリ

昭和十八年七月三十一日即チ中華民國三十二年七月三十一日南京ニ於テ之ヲ作成ス

大日本帝國特命全權大使 谷 正 之(印)

中華民國國民政府外交部部長 褚 民 誼(印)



中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國間  
條約ニ關スル日華兩國全權委員間了解事項

本日中華民國ニ於ケル日本國臣民ニ對スル課税ニ關スル日本國中華民國間條約ニ署名スルニ當リ本條約實施ニ付テノ暫定的措置トシテ兩國全權委員間ニ左ノ了解成立セリ

第一 附屬協定第二條ニ付

本條ノ規定ハ中華民國駐劄大日本帝國特命全權大使ト中華民國政府外交部部長トノ間ニ別ニ協議決定セララル迄適用セラレザルベシ

第二 附屬協定第三條ニ付

當分ノ間中華民國政府ハ日本國臣民ノ服スベキ中華民國ノ課税ニ關スル法令ニ基ク行政處分ニシテ強制力ヲ用フルモノハ之ヲ爲サザルモノトス

第三 本了解事項第一及第二ニ付

日本國政府ハ日本國臣民ヲシテ本條約ニ基キ納税セシムル爲別ニ必要ナル措置ヲ執ルベキモノトス



昭和十八年七月三十一日即チ中華民國三十二年七月三十一日南京ニ於テ之ヲ作成ス

六

大日本帝國特命全權大使 谷 正 之(印)  
中華民國國民政府外交部部長 褚 民 誼(印)



抹消  
國家機密

外甲三四

昭和十八年八月 日

內閣書記官長

內閣書記官

昭和十八年八月三日

內閣總理大臣



法制局長官



外務大臣

高橋

海軍大臣

山本

商工大臣

西園寺

大東亞大臣

齋藤

內務大臣

高橋

司法大臣

小島

遞信大臣

室田

鈴木國務大臣

鈴木

大藏大臣

興

文部大臣

小島

鐵道大臣

有田

大森國務大臣

大森

陸軍大臣



農林大臣

近衛

厚生大臣

近衛

後藤國務大臣



別紙外務大臣請議日本國「ビルク」國間  
同盟條約公布方請議，件ヲ審査スル

上  
司



ニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通  
條約公布ノコトニ閣議決定セラレ可然  
ト認ム

條約公布案

呈案附箋ノ通



三ノ内  
一號

法制局

機密  
第一

條一機密第三一五號

昭和十八年七月二十九日

外務大臣 重光

内閣總理大臣 東條英機殿

日本國「ビルマ」國間同盟條約公布方請議ノ件

日本國「ビルマ」國間同盟條約近ク署名ノ運ト相成ルベク候ニ付  
テハ右署名濟ノ節ハ至急官報ヲ以テ公布方可然御取計相成度別紙  
公布案相添ヘ此段及請議候也

追テ署名濟ノ節ハ其ノ旨署名ノ月日、署名振等ト共ニ直ニ通報  
ニ及ブベク候

蔡  
外務大臣印

主任者、條約局第一課長

外甲三四

外務省



朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十八年八月一日「ラシグリン」ニ於テ帝國特命全權大使ガ「ビルマ」國內閣總理大臣ト共ニ署名調印シタル日本國「ビルマ」國間同盟條約ヲ茲ニ公布セシム

御名 御璽

昭和十八年八月二日

內閣總理大臣

外務大臣

陸軍大臣

海軍大臣  
東亞大臣  
外務省

地名ノ記入振ニ付テハ  
外務省條約局ト  
御打合セ相成度  
法制局  
內閣官房總務課  
御中



尙公布案文書左ノ通添附致置候

一 上諭文案

二 條約日本文

二 部

五 部

外  
務  
省

日本標準規格 B5

IMT 670

347



條約第 號

日本國「ビルマ」國間同盟條約

大日本帝國政府及

「ビルマ」國政府ハ

日本國政府ガ「ビルマ」國ヲ獨立國家トシテ承認シタルニ因リ

兩國ハ相互ニ其ノ自主獨立ヲ尊重シツツ各國ト緊密ニ協力シテ道義ニ基キ大東亞ニ於ケル共同ノ建設ヲ行ヒ以テ世界全般ノ平和ニ貢獻センコトヲ期シ

之ガ障礙タル一切ノ禍根ヲ芟除スルノ確乎不動ノ決意ヲ以テ左ノ通協定セリ

第一條

日本國及「ビルマ」國ハ大東亞戰爭完遂ノ爲軍事上、政治上及經濟上有ラユル協力ヲ爲スベシ

第二條

日本國及「ビルマ」國ハ大東亞各國ノ共榮ヲ趣旨トスル自主的發展及大東亞興隆ノ爲ノ共同ノ建設ニ付相互ニ緊密ニ協力スベシ

第三條

本條約ノ實施ニ關スル細目ハ必要ニ應ジ兩國當該官憲間ニ協議決定セララルベシ



第四條

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日即チ

ニ於テ本書ニ通ヲ作成ス

年

月

日



秘

條一祕第三二四號

昭和十八年八月二日

主任者、條約局第一課長

外務次官 松本俊

内閣書記官長 星野直樹殿



日本國「ビルマ」國間同盟條約公布方ニ關スル件

本件ニ關シテハ重光外務大臣ヨリ東條内閣總理大臣宛七月二十九日附條一機密第三一五號ヲ以テ申進ノ次第アリタル處本件條約ハ本月一日署名ヲ了シタルニ付三日附官報ヲ以テ公布方御取計相成度尙前記往信添附ノ案文日本文ノ日附、署名振等左記ノ通記入方御取計相成度記入濟ノモノ三部別添ノ通及御送付候

外務省



記

日本國「ビルマ」國間同盟條約

昭和十八年八月一日即チ「ビルマ」曆千三百五年「ワガン」  
月「ワクシン」一日「ラングーン」ニ於テ本書二通ヲ作成ス

大日本帝國特命全權大使 澤田廉三（印）

「ビルマ」國內閣總理大臣 バー、モウ（印）

外務省



條約第九號

日本國「ビルマ」國間同盟條約

大日本帝國政府及

「ビルマ」國政府ハ

日本國政府ガ「ビルマ」國ヲ獨立國家トシテ承認シタルニ因リ

兩國ハ相互ニ其ノ自主獨立ヲ尊重シツツ各國ト緊密ニ協力シテ道義ニ基キ大東亞ニ於ケル共同ノ建設ヲ行ヒ以テ世界全般ノ平和ニ貢獻センコトヲ期シ

之ガ障礙タル一切ノ禍根ヲ芟除スルノ確乎不動ノ決意ヲ以テ左ノ通協定セリ

第一條

日本國及「ビルマ」國ハ大東亞戰爭完遂ノ爲軍事上、政治上及經濟上有ラユル協力ヲ爲スベシ

第二條

日本國及「ビルマ」國ハ大東亞各國ノ共榮ヲ趣旨トスル自主的發展及大東亞興隆ノ爲ノ共同ノ建設ニ付相互ニ緊密ニ協力スベシ

第三條

本條約ノ實施ニ關スル細目ハ必要ニ應ジ兩國當該官憲間ニ協議決定セララルベシ



第四條

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和十八年八月一日即チ「ビルマ」曆千三百五年「ワガン」月「ワクシン」一日「ラングーン」ニ於  
テ本書二通ヲ作成ス

大日本帝國特命全權大使 澤田 廉三(印)

「ビルマ」國內閣總理大臣 バー、モウ(印)



外甲四二

昭和十八年八月十七日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣



法制局長官



外務大臣

芳澤

海軍大臣

山本

商工大臣

西園寺

大東亞大臣

齋藤

内務大臣

高橋

司法大臣

北川

逓信大臣

吉田

鈴木國務大臣



大藏大臣

興業

文部大臣

白根

鐵道大臣

森田

大森國務大臣

大森

陸軍大臣



農林大臣

厚生大臣

海軍

後藤國務大臣



別紙外務大臣請議

ケル「夕」國ノ領土ニ關スル日本國「夕」國間條

昭和十八年九月三日



約公布方請議ノ件ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思  
考ス依テ請議ノ通條約公布ノコトニ閣議決定セ  
ラレ可然ト認ム

條約公布案

呈案ノ通



極秘



法務局外第二四號  
昭和十八年八月十六日

主任者、條約局第一課長

條一極秘第三四四號

昭和十八年八月十六日

外務大臣 重光

内閣總理大臣 東條英機 殿

「マライ」及「シヤン」地方ニ於ケル「タイ」國ノ領土ニ關スル日本國「タイ」國間條約公布方請議ノ件

「マライ」及「シヤン」地方ニ於ケル「タイ」國ノ領土ニ關スル日本國「タイ」國間條約近ク署名ノ運ト相成ルベク候ニ付テハ右署名濟ノ節ハ至急官報ヲ以テ公布方可然御取計相成度別紙公布案相添へ此段及請議候也



外甲四二

外務省



追テ署名済ノ節ハ其ノ旨署名ノ月日、署名振等ト共ニ直ニ通報ニ  
及ブベク候

尙公布案文書左ノ通添附致置候

一 上諭文案 二部

ニ 條約日本文 五部

外  
務  
省



朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十八年八月二十日「バン  
コック」ニ於テ帝國特命全權大使ガ「タイ」國代表者ト共ニ署名  
調印シタル「マライ」及「シヤン」地方ニ於ケル「タイ」國ノ領  
土ニ關スル日本國「タイ」國間條約ヲ茲ニ公布セシム

御名御璽

昭和十八年九月七日

內閣總理大臣

外務大臣

陸軍大臣

外務省



大 海  
東 軍  
亞 大  
大 大  
臣 臣

外  
務  
省

東東 4943

TMT 678

359



條約第 號

「マライ」及「シヤン」地方ニ於ケル「タイ」國ノ領土ニ關スル日本國「タイ」國  
間條約

大日本帝國政府及「タイ」王國政府ハ

兩國緊密ニ協力シテ米英兩國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂シ道義ニ基ク大東亞ヲ建設スルノ不動ノ決意  
ヲ以テ左ノ通協定セリ

第一條

日本國ハ「タイ」國ガ「ケランタン」、「トレンガヌ」、「ケダー」、「ベルリス」各州及附屬島嶼ヲ其ノ領土  
トシテ編入スルコトヲ承認ス

第二條

日本國ハ「タイ」國ガ「シヤン」地方ニ於テ「ケントン」及「モンバン」兩州ヲ其ノ領土トシテ編入スルコト  
ヲ承認ス

第三條

日本國ハ本條約實施ノ日ヨリ六十日以内ニ前二條ノ規定スル地域ニ於テ現ニ其ノ行フ行政ヲ終止スベ  
シ



第四條

第一條及第二條ノ規定スル地域ノ境界ハ本條約調印ノ日ニ於ケル州境ニ據ル

第五條

本條約ノ實施ノ爲必要ナル細目ハ兩國當該官憲間ニ協議決定セララルベシ

第六條

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セララルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日即チ

年 月 日

ニ於テ日本文及「タイ」文ヲ以テ本書各二通ヲ作成ス



秘

仰決裁

内閣書記官長

之

條一祕第三六六號

昭和十八年九月二日 地方ニ於ケル「タイ」國ノ

日本國「タイ」國間條約

昭和十八年八月二十日 外務次官 松本俊

内閣書記官長 星野直樹殿

「マライ」及「シン」地方ニ於ケル「タイ」

内閣書記官長

方ニ關スル件 日本國「タイ」國間條約公布

本件ニ關シテハ重光外務大臣ヨリ東條内閣總理大臣宛八月十六日

附條一極祕第三四四號ヲ以テ申進ノ次第アリタル處本件條約ハ八

月二十日署名ヲ了シタルニ付官報ヲ以テ公布方御取計相成度尙前

記往信添附ノ案文日本文ノ日附、署名振等左記ノ通記入方御取計

相成度記入濟ノモノ三部別添ノ通及御送付候



外甲四二高

外務省

(日本標準規格B5)

IMT 670

362



記

「マライ」及「シヤン」地方ニ於ケル「タイ」國ノ領土ニ關スル  
日本國「タイ」國間條約

昭和十八年八月二十日即チ佛曆二千四百八十六年八月二十日  
「バンコック」ニ於テ日本文及「タイ」文ヲ以テ本書各二通  
ヲ作成ス

特命全權大使 坪上貞二（印）

内閣總理大臣兼

外務大臣事務管掌

元帥 ビー、ピブン、ソククム（印）

外務省



# 條約第十號

「マライ」及「シャン」地方ニ於ケル「タイ」國ノ領土ニ關スル日本國「タイ」國  
間條約

大日本帝國政府及「タイ」王國政府ハ

兩國緊密ニ協力シテ米英兩國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂シ道義ニ基ク大東亞ヲ建設スルノ不動ノ決意  
ヲ以テ左ノ通協定セリ

## 第一條

日本國ハ「タイ」國ガ「ケランタン」、「トレンガヌ」、「ケダー」、「ペルリス」各州及附屬島嶼ヲ其ノ領土  
トシテ編入スルコトヲ承認ス

## 第二條

日本國ハ「タイ」國ガ「シャン」地方ニ於テ「ケントン」及「モンバン」兩州ヲ其ノ領土トシテ編入スルコト  
ヲ承認ス

## 第三條

日本國ハ本條約實施ノ日ヨリ六十日以内ニ前二條ノ規定スル地域ニ於テ現ニ其ノ行フ行政ヲ終止スベ  
シ



第四條

第一條及第二條ノ規定スル地域ノ境界ハ本條約調印ノ日ニ於ケル州境ニ據ル

第五條

本條約ノ實施ノ爲必要ナル細目ハ兩國當該官憲間ニ協議決定セララルベシ

第六條

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セララルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和十八年八月二十日即チ佛曆二千四百八十六年八月二十日「バンコック」ニ於テ日本文及「タイ」文ヲ以テ本書各二通ヲ作成ス

特命全權大使 坪 上 貞 二(印)

内閣總理大臣兼

外務大臣事務管掌

元帥 ビー、ビブン、ソングラム(印)



濟



「シヤン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土ニ關  
スル日本國「ビルマ」國間條約締結ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十八年九月二十二日

内閣總理大臣東條英機





外甲第四四號

起 昭和十八年九月三日

閣議 昭和 年 月 日 施行  
決定 昭和十八年九月三日

裁可 昭和十八年九月三日  
指令

內閣總理大臣

*Handwritten signature*

內閣書記官長

*Handwritten signature*

內閣書記官

外務大臣

海軍大臣

商工大臣

大東亞大臣

內務大臣

司法大臣

遞信大臣

陸本國務大臣

大藏大臣

文部大臣

鐵道大臣

大藏國務大臣

陸軍大臣

農林大臣

厚生大臣

陸海國務大臣

シヤン地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土ニ關



スル日本國「ビルマ」國間條約締結ノ件  
右樞密院ノ御諮詢ヲ經テ御下付ニ付同  
院上奏ノ通裁可ヲ奏請セラレ然ルベシト  
認ム

例文 指令案



臣等「シヤ」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領  
土ニ關スル日本國「ビルマ」國間條約締結ノ  
件諮詢ノ命ヲ恪ニ本月二十二日ヲ以テ審  
議ヲ盡シ之ヲ可決セリ乃チ謹テ上奏シ更  
ニ

聖明ノ採擇ヲ仰ク

昭和十八年九月二十二日

樞密院議長臣 原嘉道



3

「シヤン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土ニ關スル日本國「ビルマ」國間  
條約

大日本帝國政府及「ビルマ」國政府ハ  
兩國緊密ニ協力シテ米英兩國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂シ道義ニ基ク大東亞ヲ建設スルノ不動ノ決意  
ヲ以テ左ノ通協定セリ

第一條

日本國ハ「ビルマ」國ガ「ケントン」及「モンバン」兩州以外ノ「シヤン」諸州、「カレン」ニ「諸州並ニ「ワー」  
地方ヲ其ノ領土トシテ編入スルコトヲ承認ス

第二條

日本國ハ本條約實施ノ日ヨリ九十日以内ニ前條ノ規定スル地域ニ於テ現ニ其ノ行フ行政ヲ終止スベシ

第三條

本條約ノ實施ノ爲必要ナル細目ハ兩國當該官憲間ニ協議決定セララルベシ

第四條

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セララルベシ



右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日即チ

日

ニ於テ本書ニ通ヲ作成ス

年

月

二



外甲 四四

# 御覽濟内閣へ御下付

昭和十八年九月二十日御下付

昭和十八年九月二十日

内閣書記官長

三

内閣書記官

三

三

三

内閣總理大臣



法制局長官



外務大臣

三

海軍大臣

五

商工大臣

五

大東亞大臣

五

内務大臣

三

司法大臣

三

逓信大臣

五

鈴木國務大臣

三

大藏大臣

興

文部大臣

五

鐵道大臣

五

大森國務大臣

三

陸軍大臣

三

農林大臣

五

厚生大臣

三

後藤國務大臣

五

別紙外務大臣請議「シヤン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土ニ關スル日本國「ビルマ」國間條約締結方御裁可奏請件

法制局



ヲ審査スルニ右ノ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通

閣議決定裁可ヲ奏請セテ可然ト認ム

追テ本件ハ樞密院官制第六條第六號ニ

依リ樞密院ニ御諮詢相成可然ト認ム

内閣大臣

外務大臣

陸軍大臣

海軍大臣

逓信大臣

司法大臣

文部大臣

内閣書記官

内閣書記官

明治十八年六月二十日

内閣書記官

内閣書記官



極秘

法制局

法制局外第25號

昭和十八年九月二十日

條一極秘第三八八號

昭和十八年九月二十日

外務大臣 重光

內閣總理大臣 東條英機 殿

「シヤン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土ニ關スル日本國「ビルマ」國間條約締結方御裁可奏請ノ件

豫テ日「ビルマ」兩國政府間ニ交渉中ナリシ「シヤン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土ニ關スル日本國「ビルマ」國間條約案ノ確定ヲ見ルノ運ト相成候就テハ「ビルマ」國駐劄特命全權大使澤田廉三ヲシテ「ビルマ」國代表者ト共ニ本件條約ニ署名調印セ

外甲 四四

外務省

主任者、條約局第一課長





シムルコトト致度本件御裁可奏請方至急可然御取計相成度別紙上  
奏案相添へ此段及請議候也

追テ條約案五部添附致置候

外  
務  
省



「シヤン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土ニ關スル日本國「  
ビルマ」國間條約締結ノ件御裁可アラセラレ候様仕度此段謹デ奏  
ス

昭和十八年九月二十日

外務大臣 重光



外務省

東京 4943

TMT 678

376



「シヤン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土ニ關スル日本國「ビルマ」國間  
條約

大日本帝國政府及「ビルマ」國政府ハ  
兩國緊密ニ協力シテ米英兩國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂シ道義ニ基ク大東亞ヲ建設スルノ不動ノ決意  
ヲ以テ左ノ通協定セリ

第一條

日本國ハ「ビルマ」國ガ「ケントン」及「モンバン」兩州以外ノ「シヤン」諸州、「カレンニ」諸州竝ニ「ワー」  
地方ヲ其ノ領土トシテ編入スルコトヲ承認ス

第二條

日本國ハ本條約實施ノ日ヨリ九十日以内ニ前條ノ規定スル地域ニ於テ現ニ其ノ行フ行政ヲ終止スベシ

第三條

本條約ノ實施ノ爲必要ナル細目ハ兩國當該官憲間ニ協議決定セラルベシ

第四條

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベシ



右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日即チ

ニ於テ本書ニ通ヲ作成ス

年 月

二



「シヤン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土  
ニ關スル日本國「ビルマ」國間條約締結ノ件  
右別紙ノ通本院ニ於テ決議上奏候條此段  
及通牒候也

昭和十八年九月二十二日

樞密院議長原 嘉道

内閣總理大臣東條英機殿



臣等「シヤン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土  
ニ關スル日本國「ビルマ」國間條約締結ノ件  
諮詢ノ命ヲ恪ミ本月二十二日ヲ以テ審議ヲ  
盡シ之ヲ可決セリ乃チ謹テ上奏シ更ニ  
聖明ノ採擇ヲ仰ク

昭和十八年九月二十二日

樞密院議長 臣原 嘉道



「シャン」地方等ニ於ケル「ビルマ」國ノ領土ニ關スル日本國「ビルマ」國間  
條約

大日本帝國政府及「ビルマ」國政府ハ

兩國緊密ニ協力シテ米英兩國ニ對スル共同ノ戰爭ヲ完遂シ道義ニ基ク大東亞ヲ建設スルノ不動ノ決意  
ヲ以テ左ノ通協定セリ

第一條

日本國ハ「ビルマ」國ガ「ケントン」及「モンパン」兩州以外ノ「シャン」諸州、「カレンニ」諸州竝ニ「ワー」  
地方ヲ其ノ領土トシテ編入スルコトヲ承認ス

第二條

日本國ハ本條約實施ノ日ヨリ九十日以内ニ前條ノ規定スル地域ニ於テ現ニ其ノ行フ行政ヲ終止スベシ

第三條

本條約ノ實施ノ爲必要ナル細目ハ兩國當該官憲間ニ協議決定セララルベシ

第四條

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セララルベシ



右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日即チ

日

ニ於テ本書ニ通テ作成ス

年

月

二



昭和十八年九月二十一日

宮内法制局参事官



（後日添附）

佐野理事官殿

今日閣議上程ノ日緬條約資料トシテ別紙及追送候也

内

閣

日本ライブラリー用紙

IMT 678

383



# 大日本帝國政府

覺

法制局主査參事官

一、題名中「シヤン」地方トアリ本文ニ「シヤン」州トアリ不符合ナル處右ハ「シヤン」地方ノ中ニハ「ワイ」地方ヲモ含ム通念ナリ。又「ワイ」ハ英語ハ「ステイツ」(複數)ト呼ブ食人王國ナルガ行政不完全ナルヲ以テ「地方」トシタルモノナリ。等ハ「ガレンニ」州ヲ指スモノナリ。

二、第三條ニ基ク實施協定ハ差當リ之ヲ作成セズ。然ラバ之ヲ削ラザルヤト謂フニ、前回日「タイ」條約中ニハ此ノ實施協定基本條項アリテ今回之ヲ缺クトキハ、前回條約ニ付何等カ特別ノ祕密協定アリタルニ非ザルヤヲ疑ハシムルニ至ルベク且、相手方ニモ同條ヲ存置ノ儘交渉シタル經緯モアリ、旁々今回ハ存置スルコトト説明ス。